NPO 連携事業

①世田谷区住まいまちづくり相談

「住まい・まちづくり住宅相談ネットワーク」は、世田谷区の相談事業、住宅街づくり総合相談を担当する世田谷区 NPO 法人 3 つで作っている団体です。住まいの困った！を、まちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくこと目的にしています。

世田谷区 5 支所と三軒茶屋の夜間の 6 箇所で月に 2 回ずつ開催され、玉川まちづくりハウスは、玉川地域と三軒茶屋の 2 箇所を担当しています。（一日 30 分枠 3 回、延べ 200 人が利用）。最近は、隣地境界のトラブル、リフォームの際の工事業者との話し合いの進め方等、コミュニケーションがらみの相談が多く見られ、世相を感じます。

専門性提供事業

ネットワーク形成イベント

専門性提供事業—今まで蓄積したまちづくりのノウハウを活かし、主に玉川田園調布以外でまちづくりのお手伝いをしています

●昨年度に引き続き (財) 世田谷トラストまちづくり主催の　ネットワーク形成イベントをお手伝いしました。

第 1 回「ブランディング」力をつけよう！［2010.11.17］
～広報力を高めるための創意工夫～
講師：林直樹さん (電通コミュニケーションプランナー)

NPO 団体は、自分たちの活動をわかってもらうことを課題としている団体が多いことから、必要な“広報力”や“企画力”を高めるための創意工夫を学ぶという内容でした。団体の中で共有できるようなアイデンティティがないと団体としての発信はできないという言葉が印象的でした。

第 2 回「歴史的遺産」を活かしたまちづくり［2010.12.17］
～歴史的文化遺産を後世に引き継ぐ～
講師：新堀学さん（NPO 地域再創生プログラム）

古いまちなみや家の価値をもう一度考え直してみると、新しい発見や、使いこなし方、ひいては住んでみたいと思うまちが見えてくるのではないかという意図で、企画されました。

■ NPO 法人玉川まちづくりハウス■

運営委員長　伊藤雅春

運営委員　林泰義　平松陽一　五十嵐實

監事　前田浩雄

事務局スタッフ　小西玲子 (運営委員)　池田麻未　柴田希美絵　吉見千晶

製作　2011 年 12 月 1 日

ＮＰＯ法人玉川まちづくりハウス　２０１１年度活動報告

〒 158-0085　東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10　TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986
http://www.tamamati.com　E-mail:tamamati@q06.itscom.net

2011 年度トピックス

ネットワーク事業

・玉まちフェスタ

寄付金　240,000 円

情報発信事業

・ネット文庫

助成金　250,000 円

2011 年度トピックス

■東日本大震災、フェスタの売上 24 万円を寄付しました

3 月 11 日に東日本大震災が発生し、今後の日本が大きく変わるようなことになっています。

福島原発の問題が事態をより一層複雑にしていることは確かです。個々人がバラバラになって対応していたのでは防ぐことのできないほど大きな自然災害や、回復することができないような誤った政策の選択を許さない地域社会を、選択と決定を真に地域の責任においてなしていくことができる社会に創り変えていくことが必要なのだと思います。個人的なボランティアももちろんですが、それぞれの専門分野において今までと全く異なる価値観に基づく新たな方向性が今回の震災をきっかけとして生まれてくることは明らかであるように感じています。

玉川まちづくりハウスでは、今できる支援をしていこうということで、５月に開催した「玉まちフェスタ」の売上の半額を、被災地の子どものために活動している世田谷区の「日本冒険遊び場づくり協会」に寄付しました。売上にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました（関連記事 6 ｐ）。

情報発信事業

■ネット文庫をつくりました

昨年度、玉川まちづくりハウスは公益信託世田谷まちづくりファンド「ネット文庫」部門の助成金を獲得し、2001 年からの約 10 年間の活動の記録をまとめました。

ネット文庫とは、世田谷の各活動グループの経験や知識を広く区民に共有してもらうために、平成 17 年度より新たに設けられた部門で、過去にファンドの助成をうけたグループが、自らのまちづくり活動から得られた経験、知見、スキル等をまとめ、インターネット上に電子図書の形で公開するもので、完成したものは（財）世田谷トラストまちづくりのホームページ上に掲載され、誰でも閲覧することができるようになるというものです。

紙に印刷する冊子と違って、ネット上で見やすいものにするにはどうしたらいいか四苦八苦でしたが、完成品は (財) 世田谷トラストまちづくりのホームページのほか玉川まちづくりハウスのホームページと上でも見ることができます。

また、ネット文庫製作と連動して玉川まちづくりハウスのホームページも現在の活動をよりわかりやすく見られるよう大幅リニューアルしました（関連記事 7 ｐ）。

地域協働事業

お手伝い事業
①玉川田園調布住環境協議会
②楽多の会
③クラシック音楽を楽しむ会
④安全・安心まちづくり
⑤ねこじゃらし公園

ネットワーク事業
①子育て支援活動
②社会資源発掘
③地域講座
④玉まちフェスタ

企画・調査事業
①園田邸

情報発信事業
①ハウスニュース
②冊子
③ホームページ

NPO 連携事業
①住まいまちづくり相談

らくだツアーで世田谷美術館へ

地域協働事業―世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。今は事務局作業の一部を支援しています。

①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

●相談なく建物が建設されるという前代未聞の事件が２件も

住環境協議会発足以来 11 年、地域内建築物は確認申請提出前にその計画の説明を受けており、今年の件数は例年の約半分 4 件でしたが、まったく住環境協議会との相談なく建設された建物が 2 件含まれるという、10 年来初めての大事件がありました。早速、区担当課に相談し、このようなことが起こらぬよう、対策を講じていくこととしました。

●まちづくり協定の緑化基準を見直します

世田谷区の「みどり率 33％達成」を目指す“せたがやみどり 33”政策に従い、緑化地域制度が導入され建築に伴う緑化が法的に義務づけられることになりました。玉川田園調布の「まちづくり協定」のうち緑化に関する第 11 条を、上記の区の緑化基準の充実に合わせたものに変更することを検討しています。

●みどりの casebook を作製します

みどり豊かなまちづくりを目指すため、私たちの身近な地区内外の沿道緑化、小さなみどりの“魅力あふれる Case”を発見し、ビジュアルな冊子を創ろうということで『みどりの Casebook』を発行することになりました。この事業は世田谷区市民活動課の「地域の絆推進事業」の助成金を受けています（助成金：234,000 円）。

玉川田園調布地区内の小さなみどりの例、
わずかなスペースでもみどりのスペースは、まちを豊かにします。

②地域の福祉を考える楽多の会・・・事務局担当

３月の震災の時、デイホームではサロン活動が行われていました。その時は何事もなく無事にお帰りいただいたのですが、もしかのときのための連絡先について、再検討することを痛感。緊急連絡先として携帯電話番号だけでなく、メールアドレスも整備しました。広報で行政による災害時要援護者支援制度について、寄稿いただくこともしました。災害に対する体験や知恵を共有することで支え合いの輪を強めていきたいと思っています。

サロン活動は、参加者、ボランティアスタッフも増え毎週水曜日のデイホーム１階は笑顔がたえません。ドッグセラピーも従来通り開催しています。課題はスタッフが少し忙しすぎること、ツアー等と充実するため新しいスタッフを増やしたいと切望しています。

調査事業

地域の資産を地域の暮らしに活かす事業　CAM（コミュニティ・アセット・マネジメント）

①園田高弘邸の継承と活用を考える会プロジェクト

●集いが２回と実測調査が行われました

「園田高弘邸の継承と活用を考える会」今年度はピアノの演奏と建築にまつわる講演を聞くサロンを 2 回開きました。

2010 年 11 月 21 日　演奏：宮谷理香　　講演：藤森照信
2011 年 ３月６日　　演奏：大崎結真　　情報交換会

毎回 50 名ほどのお客様が音楽とお話を楽しんでいます。

この建物は目黒区にあるため、自由が丘住区住民会議や自由が丘街づくり会社ジェイ・スピリット、自由が丘商店街振興組合などさまざまな方とハウスが協力して活動を行っています。

また、今年度は移築保存も視野に入れ、NPO 地域再創生プログラムと東京理科大山名研究室のご協力で 7 月に保存のための実測調査を行いました。

情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュースを発行しています。ニュースではハウスの活動を随時紹介しています。もっとたくさんの方にハウスの活動を知っていただきたいので、ニュースをお店などに置いていただくことも検討しています。

②冊子

今年度は公益信託世田谷まちづくりファンド「ネット文庫」部門の助成金を獲得し、2001 年からの約 10 年間の活動の記録をまとめました。それ以前の活動は「みんなでホイッ 1.2」の 2 冊にまとめられていますので、ネット文庫は「みんなでホイッ 3」という題名になっています。いずれ冊子として印刷し、販売する予定です。

③ホームページ

●ホームページをリニューアル

ホームページの内容が、現在の活動に即していないということもあて、ネット文庫の作成とともに現在ハウスが行っている活動をカテゴリー別にまとめ、初めての方が見てもわかりやすい、探したいものが見つけやすいホームページを目指して、大幅リニューアルしました。

リニューアルは地域講座でお世話になっている内山高之さんにお願いしました。

またリニューアルに伴い、ブログとツイッターも始めました。地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えできるようになりました。

玉川まちづくりハウスのホームページ
http://www.tamamati.com

④玉まちフェスタ

●震災を経てフェスタ開催を決意

5月15日（日）、晴天に恵まれ、玉川まちフェスタが開催されました。

今年も！と思い準備を進めていたところに東日本大震災が起き、開催するかどうか迷いましたが、今回のフェスタを東日本大震災の復興支援の場としてとらえ、売り上げの半分を、被災した子どもたちのために活動している世田谷区の「日本冒険遊び場づくり協会」(http://www.ipa-japan.org/asobiba/modules/news/) に寄付することにしました。

バザーへの献品は少なくなるだろうとの見通しから、今年はフリーマーケットのコーナーを設け、10組の方が来てくださり、バス通り沿いに人の賑わいができて、フェスタらしい雰囲気に、一役も二役も買っていただきました。

●たくさんの方の協力を得て

川崎市麻生区で障がい者のための活動をしているNPO法人「アルデンテ」も全面的に協力してくれました。美味しいカレー、かき氷、綿あめは、当日のお天気にもマッチして、おいしい！という声がたくさん聞かれました。

毎年来てくださるお菓子の「かすたねっと」、被災地福島の「相馬野馬追い」神事支援の台湾茶、義援金込みの青山学院大学オリジナルのメリーチョコレート、南自由が丘「ジャストピクルス」のサンドイッチ、ご存じパテ屋のパテセット。これを機会にもっとつながって協力してくださって嬉しいかぎりです。

もう一つの会場アビターレでも地域講座カリグラフィーの作品の展示、美味しいケーキのカフェ、お茶のお点前、子どもたちのためのおはなし会、ハンギングバスケットのデモンストレーション講習、地域通貨DENでお世話になっているビゴの焼き菓子とブーケットリーの花束も販売と盛りだくさんでした。デイ・ホーム会場と、アビターレ会場への人のながれの誘導が次回への課題です。

そして、3時すぎから、東儀秀樹さんのミニコンサート。新緑の気持ちのよい空間の中で、素晴らしい演奏を聴け、とても幸せでした。「本当にすばらしかった！」「いい時間をありがとう！」という声多数。東儀さんからも「またぜひ！」といっていただきました。

● 24万円を「日本冒険遊び場づくり協会」に寄付しました

みなさまにご協力いただいたおかげで従来より売り上げを伸ばすことができ、24万円を寄付することができました。

多くの方とつながることができ、本当に感謝しています。来年、どういう形になるかわかりませんが、さらに多くの方の関わっていただかなくてはできないものになると思います。その時は、またぜひぜひ、よろしくお願いいたします。

左：バザーの様子
右：東儀さんのコンサート

総売上	558,330
支出	－ 116,476
純売上	441,854
半額	222,427
バザー会場寄付	＋ 18,825
	239,752

寄付　240,000円

合計24万円を
「日本冒険遊び場づくり協会」
に寄付しました！

③クラシック音楽を楽しむ会・・・ハウスとの情報交換

●会の開催は144回目を数え、オペラの会も大盛況

毎月第4土曜日に植村邸で行われる「クラシック音楽を楽しむ会」も2011年9月で144回となりました。毎回40名前後のお客さまがいらして大盛況です。

また「クラシック音楽を楽しむ会」から派生した宮本三郎記念美術館の「音と映像で楽しむクラシック講座」も今年度は3回開かれ、こちらも毎回定員50名がすぐに予約でいっぱいになってしまうほどの人気です（以下の演目）。

2011年1月15日（土）「ラ・ボエーム」/ プッチーニ作曲
4月10日（日）「ばらの騎士」/ リヒャルト・シュトラウス作曲
9月17日（土）「オテロ」/ ヴェルディ作曲

「ばらの騎士」について解説する植村攻氏
（宮本三郎記念美術館提供）

④安全・安心まちづくり（防犯パトロール）

●安全安心ニュース発行

このまちにお住まいの皆様は、このまちが7～8年前に較べて安全安心なまちになったとお感じになっていると思います。

数字的なことは町会が毎月回覧している「安全安心まちづくりニュース」をご覧頂ければお判り頂けますが、これを実現したのは地域にお住まいの皆様の力です。

この「安全安心まちづくりニュース」は「楽しくやろうよ！みんなでやろうよ！」のスローガンを掲げ、地域の連携が着実に強まることを願ってハウスと協働して2011年の5月から月に一度発行しているものです。

●防犯パトロール新たな歩みへ

玉川田園調布会は今年から町会の運営を総務・安全安心・環境・文化福祉の四つのグループ制で行うことになり、防犯パトロール隊も新たな歩みを加速しています。

新たな歩みとは日常生活の中で安全安心なまちづくりを実現する三要素「気儘なパトロール」「まちの美化と清掃」「挨拶」を定着させることです。そして私たちが実行している「市民・地域・行政・警察の協働による犯罪対策」は警察庁に認められ、２０１０年１０月に東南アジア十数カ国の警察関係者を招いて開かれた国際シンポジウムで私たちの活動を紹介するなど事例発表が増えています。

更に次年度ですが、３・１１東日本大震災でその重要性が再認識された「地域の絆」を強める為に、九品仏地区の三町会ほかの方々と１２月１８日に「安全安心まちづくりシンポジウム」を開催することになり、ハウスと共同で準備を進めています。（玉川田園調布防犯パトロール隊　前田浩雄）

国際シンポジウムで発表（左端が前田氏）

⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

ねこじゃらし公園が開園して17年経過しました。メンバーも17年経過し、継承が大きな課題ですが、毎週の手入れ、定例会議、広報ねこじゃら紙の作成等の日々の活動、ナンキンハゼの剪定、ヘドロすくい、4月のバースデイイベント、玉川公園管理事務所との協働での全面刈り込み等、季節の活動は、これまで通り和気藹々と進められています。来年は、パーゴラの改修工事が予定されており、どんな憩いの場所ができあがるのか楽しみにしています。

ネットワーク事業

他の団体とネットワークすることで広がりを持ったり、こちらが企画して人と人との結びつきを深めようという事業です

助成金　250,000 円

①子育て支援活動

●昨年度平均 10 組程度だった参加者が 15 組に

おもちゃを積んだ小さなリヤカー（プレーカー）を公園に持っていって、子どもの外遊びを推進するという「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を月 1 回ほど行っています。今年度も引き続き等々力保育園と協働して園の敷地内にプレーカーを置かせていただき、保育園の地域交流の企画と連動し、保育園のお向かいの「ねこじゃらし公園」で活動を行いました。

2010 年 9 月からお手伝いをお願いしている高橋明子さんのネットワークでたくさんの若いママたちが遊びに来てくれるようになりました。

今年度はポイントカードをつくってたくさん遊びに来てくれたお友だちにはプレゼントをする予定です！

②社会資源発掘事業『宮本三郎記念美術館と地域の会』

●「人ひろば」では多彩なゲストをお招きしています

宮本三郎記念美術館を応援している「宮本三郎記念美術館と地域の会」との懇談のなかから生まれた講演会「人ひろば」。今年度は第 9 回～第 12 回が行われました。

「人ひろば」は奥沢～玉川田園調布～自由が丘の地域にゆかりのある人物を講師にお招きして多彩なテーマでお届けする講演会となっています。

11 月 7 日（日）　第 9 回「『眼』のはなし」
講演者：土坂寿行
2 月 11 日（金･祝）第 10 回「日本の児童文学に見る女性像」
講演者：末吉暁子
4 月 17 日（日）　第 11 回「奥沢・玉川の旧い話」
講演者：千野一彦
6 月 11 日（土）　第 12 回「面白い日本の私」

昔の玉川地区の話をする
玉川田園調布在住の千野一彦氏
（宮本三郎記念美術館提供）

③地域講座：多彩な講座をご紹介します

■カリグラフィー
(毎月 1･2 回 / 参加者 12 名
講師：根岸香津代先生)

西洋書道と呼ばれるカリグラフィー、年を追うごとに参加者も増え、みなさんの腕も上達しています。フェスタで作品展示をしました。

■ハンギングバスケット
(10 月：参加者 6 名
講師：池田恵美子先生)

季節の花を十数株、鉢に寄せ植えするハンギングバスケットは大好評で、何回も参加されるリピーターの方も。

■フラワーアレンジ
(12 月：参加者 9 名
講師：神田勝弘先生)

昨年に引き続きラ・ブーケットリーの神田さんにクリスマスのアレンジを習いました。大満足のできばえでした。

■カルトナージュ
(8 月：参加者 3 名
講師：藤原秀子先生)

厚紙に布を貼り付けて小箱を作るカルトナージュ。定期的に開催する予定です。

■子どものための工作講座①②
(8 月：①参加者 7 名②参加者 3 名
講師：①嶋田英津子先生②内山高之先生)

夏休み特別企画として、昨年に引き続き、子どものための工作講座をしました。①では動物マグネットと卵の容器を使ったおもちゃ、②では卵の殻を使った絵画を作りました。

＊地域講座を通して今年度新会員になった方
ニュース会員 3 名　賛助会員 1 名

2011 年度年間スケジュール

＊そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

2010 10	11	12	2011 1	2	3	4	5	6	7	8	9
地域講座 カリグラフィー 10.4 プレーカー 10.27 地域講座 ハンギング 10.17	ネットワーク形成イベント① 11.17 地域講座 カリグラフィー 11.8 プレーカー 11.24 園田邸陪楽会 11.21	ネットワーク形成イベント② 12.17 プレーカー 12.15 地域講座 カリグラフィー 12.6 フラワーアレンジ 12.11 リフォーム 12.9 ★ハウス総会 12.12	地域講座 カリグラフィー 1.17	地域講座 カリグラフィー 1.7,21 プレーカー 2.23 ネット文庫	園田邸陪楽会 3.6	地域講座 カリグラフィー 4.4 プレーカー 4.20	★玉まち フェスタ 5.15 地域講座 カリグラフィー 5.9 プレーカー 5.18	地域講座 カリグラフィー 6.13 プレーカー 6.15,29	地域講座 カリグラフィー 7.11 プレーカー 7.20 社会資源ブック	地域講座 子ども工作①② ①8.8,9・②8.22,23 カルトナージュ 8.21 カリグラフィー 8.8 プレーカー 8.31	地域講座 カリグラフィー 9.5 プレーカー 9.21